

入札監理小委員会における審議の結果報告 文化庁メディア芸術祭の企画・運営

文化庁メディア芸術祭の企画・運営については、公共サービス改革基本方針（別表）において、平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月までを期間として、民間競争入札を実施することとされている。

当該民間競争入札実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を以下のとおり報告する。

1. 確保されるべき質の設定について

【論点】

期待値が設定されている項目及び曖昧な表現の値があり、過去実績により達成可能な質の設定にすべき。また、質の設定の根拠となる過去実績の情報を開示すること。

【対応】

曖昧な表現を削除し、過去の平均実績を勘案した質の設定に修正（資料 2 - 2 19 頁、20 頁）。また、質の設定の根拠となる過去実績の情報を表記（資料 2 - 2 19 頁、20 頁、51 頁）。

2. 情報の開示について

【論点】

事業全体の 6 割程度を占めている雑役務費について、もっと詳細な項目の情報の開示をすべき。

【対応】

雑役務費の詳細な項目を表記するよう修正（資料 2 - 2 35 頁）。

3. パブリックコメントの結果と対応について

【論点】

平成 26 年 11 月 17 日から 11 月 30 日まで意見募集を行ったところ、2 者 2 件の意見が寄せられた。

【対応】

実施要項案の修正に至る意見はなかった。

以 上